

年 月 日

社団法人 関西環境開発センター 御中

## 簡易専用水道の提出書類検査申込書

水道法34条の2第2項の規定に基づく検査を受けるため、検査手数料を添えて簡易専用水道の管理に係る状況を示す書類を提出します。

申込者住所 〒

所属  
氏名  
電話

印

建築物のコード			
建築物の名称			
建築物の所在地			
建築物の設置者			
建築物環境衛生管理技術者		免状番号	第 号

《施設の概要》

設置数	設置場所	形式	形状	材質	有効容量
受水槽 (基)	・建築物内 (階)	・地上式 (六面点検可)	・角形	・FRP製	計  m <sup>3</sup>
		・地上式 (六面点検不可)	・円柱形	・RC製	
	・建築物外 (階)	・半地下式	・球形	・鋼板製	
		・地下式	・その他	・その他	
高置水槽等 (基)	・屋上	/	・角形	・FRP製	計  m <sup>3</sup>
	・塔屋		・円柱形	・RC製	
	・給水塔		・球形	・鋼板製	
	・その他		・その他	・その他	
給水方式	・高置水槽方式・圧力水槽方式・ポンプ加圧方式・蓄圧タンク方式・その他( )				
建築物の用途	・興行場・百貨店・集会場・図書館・博物館、美術館 ・遊技場・店舗・事務所・学校・その他( )				
延べ面積 (m <sup>2</sup> )	m <sup>2</sup>	1日平均 利用者数	人	1日平均 使用水量	m <sup>3</sup>

※検査手数料の請求先が申込者と異なる場合は下記へご記入下さい。

■検査手数料請求先 (請求名義)

■検査結果書および請求書の郵送先

〒

TEL

# 簡易専用水道の管理状況

判定記号 <適合=○：不適合=×：設備なし=->

No.	検査事項	厚生労働省令による検査項目（判定基準）	判定			管理状況
			受水槽	高置水槽等		
<b>(施設及びその管理の状態に関する検査)</b>						
1	水槽の周囲の状態	点検、清掃、修理等に支障のない空間が確保されていること。	1	31		
		清潔であり、ごみ、汚物等が置かれていないこと。	2	32		
		水槽周辺にたまり水、湧水等がないこと。	3	33		
2	水槽本体の状態	点検、清掃、修理等に支障のない形状であること。	4	34		
		亀裂し、又は漏水している箇所がないこと。	5	35		
		雨水等が入り込む開口部や接合部のすき間がないこと。	6	36		
		水位電極部、揚水管等の接合部が固定され、防水密封されていること。	7	37		
3	水槽上部の状態	水槽上部は水たまりができない状態であり、ほこりその他衛生上有害なものが堆積していないこと。	8	38		
		水槽のふたの上部には他の設備機器等が置かれていないこと。	9	39		
		水槽の上床盤の上部には水を汚染するおそれのある設備、機器等が置かれていないこと。	10	40		
4	水槽内部の状態	汚泥、赤さび等の沈積物、槽内壁又は内部構造物の汚れ、塗装の剥離等が異常に存在しないこと。	11	41		
		掃除が定期的に行われていることが明らかであること。	12	42		
		外壁の塗装の劣化等により光が透過する状態になっていないこと。	13	43		
		当該施設以外の配管設備が設置されていないこと。	14	44		
		流入口と流出口が近接していないこと。	15	45		
		水中及び水面に異常な浮遊物質が認められないこと。	16	46		
5	マンホールの状態	ふたが防水密閉型のものであって、ほこりその他衛生上有害なものが入らないものであること。	17	47		
		点検等を行う者以外の者が容易に開閉できないものであること。	18	48		
		マンホール面は、槽上面から衛生上有効に立ち上がっていること。	19	49		
6	オーバーフロー管の状態	管端部からほこりその他衛生上有害なものが入らない状態にあること。	20	50		
		管端部の防虫網が確認でき、正常であること。	21	51		
		防虫網の網目の大きさは虫等の侵入を防ぐのに十分なものであること。	22	52		
		管端部と排水管の流入口等とは直接連結されていないこと。	23	53		
		管端部と排水管の流入口等の間隔は逆流防止に十分な距離であること。	24	54		
7	通気管の状態	管端部からほこりその他衛生上有害なものが入らない状態にあること。	25	55		
		管端部の防虫網が確認でき、正常であること。	26	56		
		防虫網の網目の大きさは虫等の侵入を防ぐのに十分なものであること。	27	57		
		通気管として十分な有効断面積を有するものであること。	28	58		
8	水抜管の状態	管端部と排水管の流入口等とは直接連結されていないこと。	29	59		
		管端部と排水管の流入口等の間隔は逆流防止に十分な距離であること。	30	60		
9	給水管の状態	当該施設以外の配管設備と直接連結されていないこと。		61		
		水を汚染するおそれのある設備の中を貫通していないこと。		62		

## (給水栓における水質の検査)

10	臭気	異常な臭気が認められないこと。		63		度 度 mg/l
11	味	異常な味が認められないこと。		64		
12	色	異常な色が認められないこと。		65		
13	色度	五度以下であること。		66		
14	濁度	二度以下であること。		67		
15	残留塩素	検出されること。		68		

## (書類の整理等に関する検査)

16	書類の整備及び保存の状況	簡易専用水道の設備の配置及び系統を明らかにした図面の適切な整理及び保存がなされていること。	69		
		受水槽の周囲の構造物の配置を明らかにした平面図の適切な整理及び保存がなされていること。	70		
		水槽の掃除の記録の適切な整理及び保存がなされていること。	71		
		その他の帳簿書類の適切な整理及び保存がなされていること。	72		

- 備考
- 1.建築物衛生法第10条に規定する帳簿書類に基づき、それに記載されている給水の管理の状況について記入すること。
  - 2.記載に当たっては、当該建築物の建築物環境衛生管理技術者の意見を聞くこと。
  - 3.水槽の種類及び容量は、水槽ごとに記入すること。
  - 4.表中（施設及びその管理の状態に関する検査）に掲げる事項については、必要に応じて、水槽ごとに記入すること。